

商品名 アタラックス-Pカプセル25mg 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	ヒドロキシジンパモ酸塩カプセル
英名	Atarax-P	剤型	カプセル
薬価	6.10	規格	25mg 1カプセル
メーカー	ファイザー	毒劇区分	

アタラックス-Pカプセル25mgの効能・効果

蕁麻疹、(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、皮膚疾患)のそう痒、神経症における緊張、神経症における不安、神経症における抑うつ

アタラックス-Pカプセル25mgの使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、アミノフィリンに対し過敏症の既往、エチレンジアミンに対し過敏症の既往、ポルフィリン症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、QT延長、低カリウム血症、先天性QT延長症候群、著明な徐脈、不整脈を起こし易い体質、消化管運動低下、下部尿路に閉塞性疾患、重症筋無力症、狭窄性消化性潰瘍、前立腺肥大、幽門十二指腸閉塞、緑内障、認知症、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アタラックス-Pカプセル25mgの副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、蕁麻疹、胸部不快感、喉頭浮腫、呼吸困難、顔面蒼白、血圧低下、QT延長、心室頻拍、torsade de pointes、A ST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、黄疸、急性汎発性発疹性膿疱症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 不安、不随意運動、振戦、痙攣、頭痛、幻覚、興奮、錯乱、不眠、傾眠、便秘、血圧降下、過敏症、紅斑、多形滲出性紅斑、浮腫性紅斑、紅皮症、そう痒、蕁麻疹、霧視、尿閉、発熱	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 眠気、倦怠感、めまい、口渇、食欲不振、胃部不快感、嘔気、嘔吐、発疹	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
4. QT延長、心室頻拍、torsade de pointes、口蓋裂、奇形を有する児、傾眠、筋緊張低下、離脱症状、錐体外路障害、間代性運動、中枢神経抑制、精神神経系症状、新生児低酸素症、緊張低下、過度の鎮静、振戦、痙攣、低血圧、意識レベル低下、嘔気、嘔吐	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アタラックス-Pカプセル25mgの相互作用

1.	薬剤名等	中枢神経抑制剤		
	発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	両剤ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	慎重投与
2.	薬剤名等	アルコール		
	発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	両剤ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	慎重投与
3.	薬剤名等	モノアミン酸化酵素阻害剤		
	発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	両剤ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	慎重投与
4.	薬剤名等	CYP3A4/CYP3A5を阻害する薬剤		
	発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	本剤は、in vitro試験において、主としてCYP3A4／CYP3A5及びアルコール脱水素酵素で代謝	指示	注意
5.	薬剤名等	アルコール脱水素酵素を阻害する薬剤		
	発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	本剤は、in vitro試験において、主としてCYP3A4／CYP3A5及びアルコール脱水素酵素で代謝	指示	注意
6.	薬剤名等	ベタヒスチン		
	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	本剤はこれらの薬剤の作用と拮抗	指示	注意
7.	薬剤名等	抗コリンエステラーゼ剤		
	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	本剤はこれらの薬剤の作用と拮抗	指示	注意
8.	薬剤名等	シメチジン		
	発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	シメチジンは本剤の肝臓での主な代謝酵素であるCYP1A2、CYP2C19、CYP2D6、CYP3A4、CYP3A5を阻害し、本剤の代謝、排泄を遅延	指示	注意

9. 薬剤名等：不整脈を引き起こすおそれのある薬剤

発現事象 心室性不整脈等の副作用

投与条件 -

理由・原因 ともに心血管系の副作用を起こす

指示 注意

10. 薬剤名等：QT延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象 QT延長、心室頻拍＜torsade de pointesを含む＞

投与条件 -

理由・原因 QT延長作用が増強

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.